

「システムイノベーションセンター」 設立趣意書

近年のIoT、AI(人工知能)、ビッグデータなどの先進技術の急速な進展は社会のあらゆる領域にこれまでにない可能性をもたらしつつある。その力を適切に用いることによって我が国が直面する様々の課題を解決し、豊かな未来社会を実現する展望を切り開くことが強く期待されている。また企業を取り巻く経営環境も大きく変わりつつある。これまでのように単品の製品性能やサービスの向上を追求するだけでは企業が競争力を保つことが出来ない時代、製品やサービスが相互に連携して新たな付加価値を生み出していくことが求められる時代になった。

このようなデジタルトランスフォーメーションの時代で重要な役割を演じているのは「システム」である。「システム」はものどもの、ものど人、技術と社会を結びつけるとき必ず課題として立ち現れてくる。そしてその多くは沢山の複雑な要素や組織をうまく統合して多様な機能を発揮し、多くの関係者を満足させ、さらに時代の変化とともに進化する高度なシステムであることが要求される。新しいビジネスモデルの登場にはその背後には必ず新しい高度なシステムの構築があり、その意味ではデジタルトランスフォーメーションを駆動しているのは、システムを構想し構築し運用するシステム化の能力であるといつてよい。

残念ながら我が国はこの能力が欧米に比べて未成熟である。要素技術に強い日本の技術文化とそれが大きな利益をもたらした過去の成功体験、さらに社会全般を支配している縦割り志向が障害となって、要素からシステムへ付加価値のシフトに追いついていないのが現状である。我々は以下の目標を達成することを目指して、産業界主導の「システムイノベーションセンター」を創設する。

- 【1】 要素技術に強い我が国の強みを生かしつつ、製造・サービス・経営全般における生産性向上とイノベーションをシステム化に軸足を置いて実現し、システムイノベーションで国際的な競争優位に立つ。
- 【2】 超スマート社会実現のための施策をシステムの観点から検討し、必要な施策の提言を行うとともに、その柱となる具体的な社会システムおよびそれらの共通基盤の構築を企業、業種、専門を超えた専門家集団の共同作業として企画・実施する。
- 【3】 産学の緊密な連携のもとにシステム思考・システム構築・システム運用に習熟した新しいタイプの人材を経営・技術・サービスの各レベル、各分野で育成する。それを通して会員企業におけるシステム化のリテラシーの向上を目指す。
- 【4】 産・官・学にわたってシステム化に関心のある企業、団体、組織の人的、技術的なネットワークを作り、個社で実現困難な新市場創成の機会を提供するとともに、それを通じて新しい「システムビジネス」の創出を支援する。
- 【5】 海外のシステム開発を目指す企業や研究機関と緊密な連携を確立し、システムイノベーションの国際的な動向に参画する。

【6】システムを取り巻く社会経済および技術の動向を継続的に俯瞰し、システムイノベーションに関わる新たな課題に取り組む。

関係各位のご賛同とご支援を切にお願いする次第である。なおその詳細は、「事業計画」をご参照頂きたい。

産業界発起人

浦川 伸一 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 取締役常務執行役員
亀澤 宏規 株式会社三菱UFJ銀行 取締役専務執行役員
木谷 強 株式会社NTTデータ 取締役常務執行役員 CTO
ギル・プラット トヨタリサーチインスティテュート CEO
トヨタ自動車株式会社 フェロー(兼)
齊藤 裕 ファナック株式会社 副社長執行役員
島田 太郎 株式会社 東芝 コーポレートデジタル事業責任者
谷崎 勝教 株式会社 三井住友銀行 取締役兼専務執行役員
服部 正太 株式会社構造計画研究所 代表取締役社長
人見 光夫 マツダ株式会社 常務執行役員・シニア技術開発フェロー
藤田 正弘 三菱電機株式会社 常務執行役 開発本部長
古田 英範 富士通株式会社 執行役員専務 CTO/CIO
村田 佳生 株式会社野村総合研究所 常務執行役員
森 敬一 KDDI 株式会社 取締役執行役員常務 ソリューション事業
本部副事業本部長兼 ビジネス IoT 推進本部長
山田 大介 みずほフィナンシャルグループ 専務執行役員

学术界発起人

木村 英紀 早稲田大学 招聘研究教授
久間 和生 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 理事長
前内閣府総合科学技術・イノベーション会議常勤議員
吉村 忍 東京大学 産学連携担当副学長